

「話力を学ぶ皆さんへ贈ることば」

(原文：「話力学徒へ贈ることば」)

私はこの数十年ずっと、「話力を勉強して不幸になった人を知らない。」
こんな熱い思いを胸に秘めて人の前に立ち続けてきました。

そのため愛する人を、好意を持った人を、そして隣人たちをもっと幸せにできればと願う心と、逆に一人でもいい、孤独に悩む人たちに人間関係を好転させるための潜在話力を高めさせることになればという、祈るような気持ちで多くの人に語りかけてきました。

それが心の起爆剤になり、「話し手の燃える思いは必ず人の心を動かす一石になる」と悟って、話力の重要性を叫び続ける自己との闘いの日々でもありました。

そのクリーンな心の燃焼はどこから生まれるのか、いまみなさんが勉強している目的への本気度にかかっていると思います。話力理論をつきつめた究極は、いや応なくそこにゆきつくはずです。その意味で、この勉強会（編集者注：「研究会」）は、話力学徒（編集者注：「話力を学ぶ皆さん」）が本物に脱皮する道場になりましょう。ご健闘を祈るばかりです。

平成 28 年 8 月

一般社団法人 話力総合研究所 顧問 永崎一則